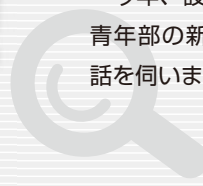


今年、設立30周年の節目の年を迎える
青年部の新会長に就任した永戸会長にお
話を伺いました。



加古川になくは ならない団体に

「原点」と「未来」を見つめて

今年のスローガンは『初志果敢（しよしのかん）』です。今年、青年部が設立30周年を迎えるにあたり、まずは「初心に帰る」ことが大事だと思いましたが。青年部創始の志とともに、「商売を始めたきっかけは？」、「人生の目標は何だった？」と自分自身も見つめ直すということです。

私たちの世代は発想力や行動力に溢れていると思うのですが、時にその力を過信しがちです。勢いに任せるので

加古川商工会議所青年部
会長 永戸 潤 さん

はなく、一度立ち止まって、忘れてしまっていることや見落としていることに改めて気付き、そのうえで決断力・実行力を発揮し「果敢に突き進む」とを同時にしてほしいと考えています。

今が変革のチャンス

新型コロナウイルスという大きな障害は見方を変えれば、働き方、会議の進め方、交流の仕方・・・、様々なものを変えるきっかけの一つにもなりました。今までのものを変えずにいることは楽ですが成長がありません。コロナ禍でも新規・継続事業については各委員会ですっかりと話し合い、青年部らしい新しいスタイルも取り入れながら実施していけたらと思っています。

委員会の編成については「政策提言委員会」を新設しました。新型コロナウイルスによる大変な状況にある今だからこそ、地域・経済の活性化など、青年経済人としての目線から提言ができるのではないかと思ひ、この委員会を立ち上げました。委員会を中心に加古川の明るい未来に向けた提言を話し合っています。

30周年事業については今後、委員会が実施案を検討していきますが、青年部の成長を皆さまに見ていただき、加古川になくはならない団体だと思っていただけのような事業にしたいと考

えています。

人脈づくりに青年部は最適

私もそうですが、青年部の入会理由のほとんどが「人脈づくり」です。私は入会してメンバーと絆を深め、人脈が広がったことを実感しています。そこで今年度は役員会をはじめとする会議などで「3分間ビジネス発表会」という時間を設け、発表者にはしっかりと自社PRをしてもらいます。限られた時間のなかでいかにアピールできるか、これを機会に改めて自社の長所を再確認してほしいですね。

また、名刺も刷新し鶴林寺やかつめしなど加古川ならではのイラストを入れ、顔写真も証明写真風ではなく、いつもの仕事着・仕事道具を持った写真を掲載して、名刺をきっかけに社業も加古川もPRできるものになりました。まだ入会されていない方には是非とも入会して人脈を拡げてください。ですし、メンバーも事業発展のツールの一つとして青年部をどんどん活用してほしいです。

青年部はこれから歩み進めていく段階のまだ途中です。更なる高みへと一段一段ステップを上げていけるよう研鑽を積み、地域社会からより期待される団体となるよう一致団結し活動してまいります。